

・各部会・振興会との話し合いにより地域営農ビジョンを新たに4品目策定し、品目ごとに5年後の数値目標と具体的な取り組み事項などを計画化しました。

- ・4品目策定：スナップエンドウ、青果用甘藷、水稻、生産牛
- ・策定状況：3品目（さとうきび、レザーリーフファン、たんかん）  
⇒7品目

・JA耕種農業生産基盤特別対策として、品目ごとに種苗や資材等に助成金を支出し、生産力の強化を図りました。

(助成金総額9,285千円)

## TAGが農家の声を傾聴

### 農家経営支援センター開所式



**[5月12日]** JA種子屋久本所で農家経営支援センターの開所式を挙行しました。

農家経営支援センターは、「農家の所得増大」を実現することを目的に新設された部署です。担い手や農業法人に出向く体制を構築し、総合渉外担当者（愛称TAG）が「組合員の声を聴く運動」を展開していきます。

事業内容は「営農・経済にかかる支援」・「担い手総合支援」・「担い手育成支援」と多岐にわたります。TAG（タッグ）とは、「T（チームタネヤク）A（アドバイザー）G（グッドウィル）」（親切心をもって農家と向き合う）の意味を持ち、農家に信頼され必要とされるよう各部署、関係機関と連携を取り、進めていきます。

### 「JA種子屋久 農家経営支援センター開所式」

